

吹奏楽部顧問の遠藤です。

他の部活と同じように、昨年度はコンクールをはじめ、郡市・小見川区の音楽会や校内の文化祭での発表、体育祭や卒業式の入退場演奏など、私たちの演奏する場が次々となくなりました。今年度もブラスフェスティバルが中止となるなど、厳しい状況が続いています。

そんな中でも部員一同、毎日の練習に一生懸命取り組んできました。一つひとつの音を大事にし、しっかりと吹ききることに。いくつもの音を重ねて、ハーモニーにしていくことに。楽譜の指示を守って、表現すること。そうして、まず私たち自身が「音楽を楽しむ」時間を作り出してきました。

しかし、文化系の部活動は、自分たち「だけ」が楽しむのでは、不十分です。自分たちの表現を、聴いてくださる相手に伝えて、初めて意味をもちます。今回のコンクールでは、課題曲で「おもちゃたちが愉快地に歌っている」様子を生き生きと描きます。自由曲では「“キラキラと輝く朝の海” “荒れ狂う嵐の海” “優しく包み込むような雄大な海”」を表現し、同時に「多くの困難をも乗り越え、希望のある未来へと向かって」いく意思を伝えます。

今のこの状況が改善し、生徒のみなさんに、私たち吹奏楽部の演奏を直接届けられる日が一日も早く来ることを願っています。そしてどの部活動も、終わった時に、みんなが「よかったね」と言い合えるよう、全力を尽くしましょう。